



第31回白石記念講座 高度情報化社会と鉄鋼業

主催：社団法人日本鉄鋼協会

協賛：計測自動制御学会，システム制御情報学会，日本情報システム・ユーザー協会，情報処理学会，日本情報処理開発協会，電子情報通信学会，情報通信学会，電気通信協会，日本能率協会（手続き中）

1. 期日・会場

平成7年11月30日(木) 東京 JAホール (東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル9階 TEL(03)3245-7456)

2. 講演内容

1) 9:30~10:30 Everywhere Computing時代の幕開け

スタンフォード大 今井 賢一

1990年代後半の産業情報化の課題を要約すれば、日本でいうEverywhere Computing, アメリカでいうUbiquitous Computingの時代をいかに切り開いてゆくかということになる。産業・企業の場合に即して具体的にいえば、産業インフラとしての大規模知識ベースを企業が共有し、企業に働く人々がどこでも、いつでも、誰とでも柔軟に情報交換することができ、企業というものが「コンセプト」と「コミットメント」のネットワークとして形成される世界である。本講演では、この新たな情報化社会のシナリオを、CALISの意義と位置づけ、産構審情報産業部会における方向づけなどに触れつつ、最近の研究成果を踏まえて展望する。

2) 10:30~11:30 ネットワークの進展と産業の高度情報化

東京電力 窪田 芳夫

今日、コンピュータと通信回線の結合による仕事の近代化はあらゆる分野に広がりを見せ、コンピュータなしでは成り立たない社会が現出している。ここでは、コンピュータによる業務近代化の歩みにふれた後、今日システムが抱えている問題の抽出、総合システムの成功事例の紹介、そしてこれからの産業の情報化を考えていく上で必要な方向性について論じたい。

3) 12:30~13:30 鉄鋼業の経営課題と情報化戦略

新日鐵 長田 純一

企業の戦略を支える情報システム整備はもちろん重要であるが、情報システム部門としての固有な情報化戦略は「個人の情報整備力向上とそれを生かす業務方式の革新、あるいは企業風土改革」である。本講演は、情報をキーにして業務を根本から見直し、個人の能力を最大限に引き出す方策と、それを実現する情報システムの再構築のためのキーワードである「標準化」をポイントに解説する。

4) 13:30~14:30 情報化技術の今後の展望

日本アイ・ピー・エム 東 正則

世界の中でリーダー的役割を果たしてきた日本の鉄鋼業は、バブル崩壊後まだ構造的な不況から脱しきれず、経営改革の抜本的な対策が見いだされずにいる。本講演では、情報化の視点から日本の鉄鋼業の経営課題を認識し、サバイバルに向けての情報技術と情報化技術の活用、必要なインフラ整備と条件、それに伴う鉄鋼マンの意識改革と企業文化改革など、「復活に向けてのアプローチのあり方」を展望する。

5) 14:45~17:30 パネルディスカッション ——情報技術と鉄鋼業のリエンジニアリング——

視点1. オフィスイノベーションの進め方 2. 販売/生産/流通の基幹業務の再構築

コーディネーター：桃山学院大学 井上 義祐

パネリスト：日新製鋼 原坂 徹/新日鐵 長田 純一/川鉄 佐藤 廣武/NKK 堀内 好浩

3. 司会者 演題 1).2) 住金 徳山 博子 3).4) 神鋼 石川 達雄

4. 事前申込は不要です。

5. テキスト代 一般価格 5,000円、会員価格 4,000円 (消費税は本会負担) ※聴講の際はかならずテキストをご購入下さい。

※会員価格は個人会員のみ適用とさせていただきます。会員の方は、当日会員証をご提示下さい。

6. 問合せ先 (社)日本鉄鋼協会 生産技術部門事務局育成グループ 佐藤・目黒 TEL (03)3279-6023代

★第32回講座「これからの品質保証」は平成8年6月10日(月)に開催の予定です。

国際会議

第1回世界製鋼会議 The First International Congress on Science and Technology of Steelmaking (ICS '96)

本会議のThird Circularをご入り用の方は、下記宛にご請求下さい。尚、会期、会場は次の通りです。

1. 会期：平成8年4月22日(月)~24日(水)

3. Circular請求・照会先：(社)日本鉄鋼協会生産技術部門事務局

2. 会場：川崎製鉄(株)みやぎ倶楽部，千葉研修センター

ICS '96担当 安藤 TEL (03)3279-6023代 FAX (03)3245-1355